



## 東京産業保健総合支援センター研修案内(令和6年12月)

- ◇研修は当センターのホームページからお申し込みください。※利用者登録(無料)が必要です。
- ◇当センターが主催する研修は、すべて無料で受講できます。
- ◇研修は当センターの研修室で開催しています。会場が異なる場合は表記いたしますのでご注意ください。

〒102-0075 東京都千代田区三番町6-14 日本生命三番町ビル3F TEL:03-5211-4480 FAX:03-5211-4485

URL=https://www.tokyosjohas.go.jp

### ◆日医認定産業医研修◆

※基礎研修は実施していません。認定証をお持ちの産業医の方が対象の研修です。

#### ◆注意◆

令和2年10月開催分から「日医認定産業医研修」の受付方法を変更しております。

お1人様、月1回のみの受講となっておりますので、必ず当センターホームページに掲載してある【「日医認定産業医研修会」の受付方法の変更について】(令和5年5月31日から一部変更)をご覧ください、ご了承の上、お申し込みください。

先着順です。(抽選ではありません。)

#### 日医認定産業医研修(令和6年12月開催分) 申込受付日時 早見表

申込受付日時		研修日時		研修テーマ	単位
11月5日(火)	10時～	12月4日(水)	14時～16時	海外派遣労働者と外国人労働者の健康管理	専門2
	10時30分～	12月6日(金)	14時～16時	高ストレス者に対する医師の面接指導	専門2
	11時～	12月9日(月)	13時30分～16時30分	作業環境測定方法	実地3
11月6日(水)	10時～	12月18日(水)	14時～16時	高齢労働者の安全衛生対策の進め方 ～エイジフレンドリーガイドラインとフレイル、ロコモ～	専門2
	10時30分～	12月19日(木)	14時～16時	メンタルヘルスの事例検討～ストレスチェックの活用～	実地2
	11時～	12月20日(金)	14時～16時	化学物質の自律的管理における産業医の役割	専門2

研修日時	研修テーマ	講師	単位	定員
12月4日(水) 14:00～16:00 申込受付日時 11月5日(火) 10時～	<b>海外派遣労働者と外国人労働者の健康管理</b> 社会のグローバル化に伴い、海外に社員を派遣する企業や外国人労働者を使用する企業が増えています。こうした労働者には感染症など様々な健康問題があり、それに対応するための健康管理対策が求められています。 本研修では、産業医が海外派遣労働者や外国人労働者に提供すべき健康管理対策について解説します。	濱田 篤郎	生涯・専門2	55
12月6日(金) 14:00～16:00 申込受付日時 11月5日(火) 10時30分～	<b>高ストレス者に対する医師の面接指導</b> 本講習会を通して ストレスチェック制度の全体像を把握した上で「高ストレス者」面接の目的と意義を再確認するとともに、高ストレス者に対する医師面接の実施に関して解説します。	森田 哲也	生涯・専門2	55
12月9日(月) 13:30～16:30 申込受付日時 11月5日(火) 11時～	<b>作業環境測定方法</b> 本研修は、産業医が毎月1回行うことになっている「職場巡視に役立つ」を主眼に、「デジタル粉じん計」や有機溶剤等有害ガスや事務所の一酸化炭素測定に用いられる「検知管」それに局所排気装置の性能検査で使われる「スモークテスター」「熱線風速計」等の実習を行います。	小嶋 純	生涯・実地3	16
12月18日(水) 14:00～16:00 申込受付日時 11月6日(水) 10時～	<b>高齢労働者の安全衛生対策の進め方 ～エイジフレンドリーガイドラインとフレイル、ロコモ～</b> 休業4日以上死傷者数のうち50歳以上の高齢労働者が半数以上を占めています。 高齢者の身体機能は壮年者と比較すると低下しており、高齢になるほど転倒災害の発生率が高くなることに影響していると考えられています。 また、定期健康診断における有所見率は高齢になると高くなっています。 厚生労働省は、「高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン(エイジフレンドリーガイドライン)」を公表しています。 最近では、転倒を予防するために、フレイル、ロコモーションシンドローム(ロコモ) 予防を意識した健康づくり活動が重要視されてきています。 これらの要点と留意事項を説明します。	荒川 輝雄	生涯・専門2	55

<p>12月19日(木)</p> <p>14:00～16:00</p> <p>申込受付日時 11月6日(水) 10時30分～</p>	<p><b>メンタルヘルスの事例検討～ストレスチェックの活用～</b></p> <p>職場で直面するメンタルヘルスの問題事例を取り上げ産業医としてどのように考え、どう対応するのが望ましいか、一緒に考えていきたいと思ひます。</p>	<p>内田 和彦</p>	<p>生涯・ 実地2</p>	<p>50</p>
<p>12月20日(金)</p> <p>14:00～16:00</p> <p>申込受付日時 11月6日(水) 11時～</p>	<p><b>化学物質の自律的管理における産業医の役割</b></p> <p>化学物質の自律的管理に関する法令改正等について学び、産業医活動における実践すべき事項を確認する。</p>	<p>石井 義脩</p>	<p>生涯・ 専門2</p>	<p>55</p>

◆産業保健研修◆ 産業看護職・衛生管理者・人事労務担当者等産業保健スタッフを対象とした研修です。

※単位等の取得はできません。

●産業保健研修の申込受付開始は、すべて**11月1日(金)10時～**です。

<会場研修>

研修日時	研修テーマ	講師	定員
12月3日(火) 14:00～16:00	<p>「職場」「在宅」でできる職場体操～「肩こり・腰痛予防 簡単骨ストレッチ」～</p> <p>この講習会では、関節にふれながら「骨」「筋肉」「関節」を連動して動かす「骨ストレッチ」を紹介します。 骨ストレッチは、だれでも無理なく、短時間で、簡単にできる運動です。 「腰痛予防」「肩こり予防」に適した「座ってできる骨ストレッチ」8動作をお伝えします。 4動作行っても2分かからず、職場体操に適しています。 それぞれの企業に適した動作を選んで、職場体操を作成してみましょう。 ◆重要◆ からだを動かしますので、水分補給のため、飲み物をご持参ください。</p>	<p>中災防安全衛生エキスパート スポーツケア整体研究所(株) 小沼 博子</p>	29
12月10日(火) 14:00～16:00	<p>すすめよう職場のスマート禁煙！</p> <p>職場の禁煙化は、法律や条例、ガイドラインでも示された労働衛生上の重要課題の一つです。本研修会は、研究成果を基に作成した科学的根拠に基づく「効果的な職場の受動喫煙対策の推進方法」を提案しております。 令和14年度には、望まない受動喫煙のない社会の実現が国の目標です。 まずは、その推進方法を知ることからはじめてみませんか？ ◆注意◆ 本研修会は、禁煙化されていない事業場の関係者を対象とします。 参加型研修で、グループワークがあります。</p>	<p>斎藤 照代</p>	45
12月11日(水) 14:00～16:00	<p>職場の安全と安心を守る カスタマーハラスメント対策</p> <p>カスタマーハラスメント(以下カスハラ)対策は従業員が安心して働ける組織づくりのために必要不可欠なものであり、事業所として対策を講じることが求められています。 ですがカスハラは社内のハラスメントと違い、社外の顧客関係が複雑にからんだデリケートな問題です。 トラブルから組織や従業員を守るためカスハラ対策の取り組み方について考えてみましょう。</p>	<p>産業カウンセラー 森井 梢江</p>	55
12月13日(金) 14:00～16:00	<p>実践に基づく適応障害等による休職者の復職支援 ～グループワークで困り事を共有しましょう～</p> <p>休業中における関わり、そして、復職に至る迄の具体的な支援対応についてお伝えしながら、皆さんと一緒に困りごとをグループワークしていきましょう。</p>	<p>労働者健康安全機構産業保健 アドバイザー 公認心理師 菅野 由喜子</p>	55
12月16日(月) 14:00～16:00	<p>病気をもつ労働者と職場へのより良い支援のために ～治療と就労のバランスを支えるヒント～</p> <p>本研修では、近年増えている病気(がん、難病など)をもつ労働者が、治療と就労のバランスをとれるようにすることを目指して、どのような支援が望まれるか、どのように支援を進めるかについて、事例検討を含めて学びます。 研修内でワークシートを記入・提出いただくことで質問・考えを共有しながら、全員で学びを深めていきます。 ・両立支援度チェック ・事例をもとに、がんをもつ社員の就労支援を考える ・勤務スケジュールの配慮 ・職務内容の配慮と、同僚への伝え方 ・両立を支える職場づくり ※本研修では個人ワークを行い、提出いただいた内容を講師が共有させていただきます。 ※本テーマに関する疑問・質問を事前に受け付けます。参加申込後、当センターから「12月16日研修 疑問・質問依頼」メールをお送りいたしますので、そちらへご入力ください。</p>	<p>佐々木 美奈子、伊藤 美千代</p>	55